

TOPICS 津久見クラブ



日本スポーツマスターズ2016大分県大会で優勝し、また、鹿児島市で開催された九州地区大会でも佐賀県のチームに勝利し、9月に秋田県で行われる全国大会へ出場します。マスターズとは40歳以上の選手で構成された軟式野球チームで、「津久見クラブ」は全員が高校野球経験者であり、うち3名は甲子園出場経験もあり、実力充分のチームです。九州地区大会の前に、全国大会に出場できた際には津久見高校と同じ「黄色と黒色」のストッキングで出場するとの約束をきっちりと果たしてくれました。

TOPICS 津久見少年野球部

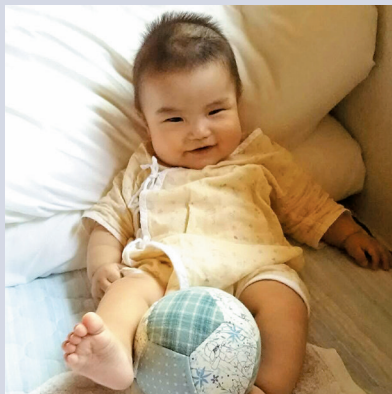


津久見少年野球部(部員30名)は8月に行われた学童野球選手権大分県大会で見事に優勝を果たし、11月に別府市で行われる九州大会に出場します。前年度優勝チームなので、連覇をかけて試合に挑みます。全員野球を得意とし、打順のどこからでも点の取れる打線がチームの特長です。7月に行われた九州大会でも九州の強豪チームの中で3位に入る成績を残しています。

【発行・編集】津久見市役所 秘書課
〒879-2435 津久見市宮本町20番15号
☎0972(82)9510 FAX0972(82)9520
ホームページ <http://www.city.tsukumi.oita.jp/>
✉tsu-hisyo@city.tsukumi.lg.jp

つくみっ子

つくみっ子を募集しています。お子さんの写真(デジタル画像も可)、お名前(ふりがな)、性別、年齢(生年月日)、住所、電話番号、保護者名、お子さんへのメッセージを添えて、郵送またはEメールでご応募ください。
tsu-hisyo@city.tsukumi.lg.jp



永岡 ^{いくま} 育真くん(5ヶ月)

高洲町

父・浩太郎さん 母・祥子さん
「いつも元気でありがとう☆
幸せに育ってね!」

ある防災士のひとこと

～9月1日は「防災の日」～



大正12年9月1日午前11時58分。相模トラフ沿いの断層を震源とした関東地震が発生しました。南関東で震度6マグニチュードは7.9。死者・行方不明者は10万5千人にのぼり災害史上最大規模になりました。

大地震の揺れもさることながら、地震後の火災による死者が大多数を数えるものです。このひどい災害を忘れないように、防災の教訓として「防災の日」ができたそうです。ことわざに「災害は忘れた頃にやってくる」最近では「災害は忘れる間もなく発生する」らしいですよ。いろいろな災害に備えを怠りなく。



津久見 まぐろを使った 伝統の味 キャンペーン 7/1~9/30

先月号の市報の港まつりのページに「今年、津久見の夏は熱い!」と掲載したのですが、文字通り今年の津久見の夏は熱かったです。実際の暑さも凄かったです。リオオリピックでオリリンピックレコードを残した渡辺一平選手、満面の笑みで津久見を楽しんでくれた南阿蘇っ子応援プロジェクト、20年ぶりに行われた日独スポーツ少年団交流、野球、サッカーなど各種スポーツ選手の活躍、など熱い話題が満載の夏です。市報のトピックスも2ページではとてありませんでした。おかげで取材に奔走した私も日焼けで真っ黒になってしまいました。まだ暑い日が続きます。9月とは言え、熱中症にはご注意ください。

編集後記